

平成 19 年 7 月 31 日

## 県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は、生産活動が一進一退で、個人消費も盛り上がりを欠くなど、全体では足踏みが続いている。

生産活動は、電子部品関連が回復しつつあるが、飲食料品は伸び悩んでいる。個人消費関連は、百貨店売上げやスーパー売上げ、新車販売ともに盛り上がりを欠く。投資関連では、公共工事や民間建築工事、住宅着工ともに低調。一方、観光入り込み客数は堅調に推移。

### 【生産活動】 ... 一進一退

**電子部品**関連は、IC 生産が改善しており、PDP（プラズマ・ディスプレイ・パネル）もまず堅調。一方、カラーLCD（液晶ディスプレイ）は国内外での受注競争激化により伸び悩んでいる。

6 月の**生コン**生産は、4 か月連続で前年を下回った。

6 月の**紙パルプ**生産は、前年比 4.9%増となった。

**木材**関係は、住宅建設向け需要が弱く、低調に推移している。

**大島紬**生産は、減反基調にある。

**焼酎**は、生産および出荷の増勢テンポこそ鈍化しているものの、引続き高水準で推移している。

**かつお節**生産は、原料となる輸入かつおの浜値が依然高値で推移し、枕崎産地では一時生産を休止するなど、抑制基調で推移。

### 【畜産関連】 ... 畜種により明暗分ける

肉用牛（和牛）の枝肉相場は高値圏にあるものの、需要の伸び悩みから弱含んでいる。豚肉及びブロイラー相場は、堅調に推移している。また、鶏卵相場は供給量の増加から弱含み。

### 【消費関連】 ... 盛り上がりを欠く

5月の百貨店売上げは、夏物衣料品が伸び悩み、前年比3.4%減と14か月連続で前年を下回った。一方、5月のスーパー売上げは、1.5%減と3か月連続で前年を下回った。6月の大型小売店販売は百貨店のクリアランスセール開始の前倒しにより、前年をやや上回った。

6月の乗用車新車販売台数は10.6%減と、17か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は10.2%、小型車が10.8%の各減となった。また、軽自動車も4.8%減と4か月連続の前年割れとなった。

### 【観光関連】 ... 堅調

6月の離島を除く主要ホテル・旅館の宿泊客数は、前年比12.1%増と、オフシーズンながら前年を大きく上回った。地区別にみても、鹿児島地区、指宿地区、霧島地区全てで前年を上回った。一方、種子島・屋久島地区は、小幅ながら前年を下回り、引き続き減少のまま。この間の主要観光施設入場者数は、観光客の増加を背景に、前年を上回った。

### 【投資関連】 ... 低調

6月の公共工事は、件数、請負金額ともに2か月連続で前年を下回った。民間建築工事も棟数、床面積、工事費ともに前年を下回っている。

5月の新設住宅着工戸数は、前年比8.2%減と2か月振りに前年を下回った。利用関係別では、分譲が30.6%増となったものの、持家、貸家が11.5%、13.6%の各減となった。

6月の主要**建設資材**卸売業者の売上げは、2か月連続で前年並み。

#### 【貿易関連】 ... 輸出が前年を上回る

5月の**輸出額**は、半導体等電子部品や液晶表示板等の科学光学機器が前年を下回ったものの、タイヤ・チューブやコンデンサーが前年を上回ったことから、全体では9.3%増となった。また、**輸入**は穀物及び同調整品が前年を上回ったものの、原油及び粗油が前年割れとなったことから全体では3.6%減となった。

#### 【雇用情勢】 ... やや改善

5月の有効求人倍率は0.64倍と前月比0.01ポイント上昇し、雇用情勢はやや改善している。

#### 【金融情勢】 ... 堅調

**資金需要**は、住宅ローンが堅調に推移している他、企業の設備資金にも底入れ感が窺える。

#### 【企業倒産】 ... 負債額が増加

6月の**企業倒産**は、件数は18件と前年同月(9件)を上回った。負債額は大型倒産の発生により45億2,700万円と前年同月(5億4,100万円)を大幅に上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

(株)鹿兒島地域経済研究所 ( 099-225-7491 )